

# 健康アドバイス

No.240

## がん

日本人の死因の第1位をご存知

でしょうか。2020年の統計によ

ると、それは「がん」です(図1)。明治

から昭和初期までは結核や肺炎な

どの感染症が最も多かったのが、第

二次大戦後からは脳血管疾患が第

1位となりました。がんは1981

年から死因の第1位で総死亡の約

3割を占めます。第2位は心疾患

で、第3位は老衰です。がんによる

死亡数は圧倒的に多く、心疾患に

よるものの約2倍となります。今や

日本人の二人に一人は一生のうち

に、がんと診断される時代になると

予想されていますのでこれは納得

できる数字でしょう。

ところで、日本人がかかるがんで

最も多いのは何なのでしょう？

男性では前立腺がんが最も多く全

体の16.5%を占め、次いで胃がん

(15.6%)、大腸がん(15.5%)、肺

がん(14.7%)と続きます。女性で

は、乳がんが最も多く22.2%、次い

で、大腸がん(15.6%)、肺がん(9.

7%)の順となっています。

それでは、そのがんによる死因の

うち、トップはどの臓器のがんなの

でしょうか？それは肺がんです。男

女別で見ると、男性では肺がんが

最も多くがん死亡全体の24.1%

を占め、次いで胃がん(12.6%)、大

腸がん(12.5%)の順、

女性では大腸がんが最

も多く(15.3%)、次い

で、肺がん(14.2%)、肺

臓がん(11.9%)の順と

なっています。肺がんに

かかる方の割合はさほ

ど多くはないのにも関

わらず、肺がんで命を落

とす方の割合がとても

多いのにはちよつと驚

きます。肺がんは恐ろし

い病気だと思っておら

れる方は多いのですが、



立川総合病院 呼吸器センター長  
日本呼吸器外科学会 評議員

岸本晃司



[図1] 主要死因別死亡率年次推移(1947年~2020年)  
公益財団法人がん研究振興財団 がんの統計2022より

違つてはいいことがわかります。では、本当に肺がんは恐ろしい病気なのでしょうか。いいえ、決してそうではありません。他の臓器のがんと同様に、早期に見つけてきちんとした治療を受ければ大丈夫です。次回からは肺がんを早期に見つける方法と治療方法をご紹介します。